

平成29年

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会

12月18日

豊明市議会

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会
会議録

平成29年12月18日

午前11時32分 開会

午後零時45分 閉会

1. 出席委員

委員長	杉浦光男	副委員長	村山金敏
委員	富永秀一	委員	後藤学
委員	郷右近修	委員	清水義昭
委員	近藤ひろひで	委員	蟹井智行
委員	宮本英彦	委員	ふじえ真理子
委員	近藤善人	委員	鵜飼貞雄
委員	毛受明宏	委員	近藤千鶴
委員	早川直彦	委員	山盛さちえ
委員	月岡修一	委員	近藤郁子
委員	三浦桂司	委員	一色美智子

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石川晃二	議事課長	鈴木美智雄
議事担当係長	水野美樹	議事課主事	荻正幸

4. 説明のため出席した者の職、氏名

なし

5. 傍聴者

なし

午前 11 時 32 分開会

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御出席いただきましてありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

これより本日の会議を開きます。

それでは、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

1、報告書についてを議題とします。

本特別委員会もいろいろと調査等を重ねてきまして、さきの特別委員会で、議員定数、議員報酬について委員会としての結論を出しましたので、別紙のとおり委員会報告書を取りまとめいたしました。

では、ただいまから章ごとに朗読して確認をしていきますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、いきます。

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会報告書。平成29年12月21日。豊明市議会議長、月岡修一殿。豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会委員長、杉浦光男。

本委員会は、付託事項の調査を下記のとおり終了したので、豊明市議会会議規則第110条の規定により報告します。

ここまではよろしいですね。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。記。

1、地方分権の進展に伴い、議会の担うべき役割及び責任も大きくなる中で、これまで以上にチェック機能及び立法機能の強化が求められる。そのために、本市議会では議会と議員の責務及び議会運営について、また、市民により信頼され開かれた市議会を目指し、協議、検討する豊明市議会議会改革推進協議会を平成27年6月22日に設置した。

当推進協議会の中の豊明市議会議員定数・報酬分科会による報告を受けて、豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会を立ち上げた。市民から議会の課題として挙げられる、議員定数・報酬について、当特別委員会で調査検討の過程を市民に開放し……。

（公開の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 公開し、その内容を報告書にまとめることとした。

ここまでよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

2、豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会の設置。

（1）設置年月日、豊明市議会平成28年10月緊急議会、平成28年10月24日議決。

（2）特別委員会の定数、全議員20名。

（3）特別委員会委員長、副委員長、委員の氏名、委員長、杉浦光男、副委員長、村山金敏。委員、富永秀一、委員、郷右近 修、委員、清水義昭、委員、鶴飼貞雄、委員、近藤ひろひで、委員、蟹井智行、委員、後藤 学、委員、宮本英彦、委員、ふじえ真理子、委員、毛受明宏、委員、早川直彦、委員、山盛さちえ、委員、近藤善人、委員、月岡修一、委員、三浦桂司、委員、一色美智子……。

（はいの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どきつ。はい。

○近藤郁子委員 18名しか名前が載っておりません。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 重大なことですが、名前を落としましたので、委員、近藤千鶴委員と委員、近藤郁子委員が載っておりませんので、ここに追加をいたします。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 3、委員会の活動経過。

委員会の活動経過については、次のとおりである。委員会14回、協議会25回、広聴会1回、講演会1回。

開催年月日及び内容については、（別紙1）に示す。

（別表の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 別表、ごめんなさい。（別表1）に示す。

よろしいですね。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 4、調査事項。

議員定数に関する調査について。

（2）議員報酬に関する調査について。

よろしいですね。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 5、調査経過。

議員定数・報酬検討の進め方については議会改革推進協議会で確認し、特別委員会に引き継がれた内容を参考にして進めた。大きくは3つの柱がある。(平成28年12月22日特別委員会)

○豊明市のこれまでの経緯や他市の状況等について学習する。

・定数削減の経緯(直接請求、請願、陳情)と結果(賛否状況)及び報酬改定の経緯を確認する。(平成11年削減時までさかのぼる)

・人口、面積等が同等規模の市の資料を作成し参考とする。対象は、近隣自治体及び都市部(首都圏・近畿圏など)とする。

○市民参加の前に議員間で討議し論点整理などを行う。

討議に当たり、議会基本条例第18条(議員定数)を踏まえる。

参考、第18条 市議会が議員定数を改正するに当たっては、市の人口、面積、財政力等、市政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮するものとする。

・定数・報酬の増、現状維持、削減それぞれのメリット、デメリット(デメリットの解消方法も)についても論点整理をする。

○市民も含めた議会制民主主義のあり方について学習する。

・「市民も含め」の意味をどのように捉えるかをまず考える。

議会と議員の存在意義と役割について学習し、定数・報酬のあり方について議論する。

市行政や議会の現状を市民にもよく理解してもらう。

講演会等の開催、その後、市民と意見交換(グループ討議)。

・市民アンケート。

・特別委員会で公聴会。

・市民討議会(市民の中からランダムに参加者を決め、論議する)。

まずここまでで、それじゃ、御意見を聞きます。

御意見ありませんか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 異議なしと認めます。

(ちょっと文字がずれとるから直しての声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 今のところも……。

(一番下の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 2ページが一番下のところで……。

（行がずれとるの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 行がずれております。

こういうふうに、まだこの中にもあると思いますが、レイアウトについては、語句や内容は全然いじらなくて、レイアウトについては一部修正をさせていただくということによろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

それでは、括弧のほうに行って、（１）議員定数や報酬について、豊明市のこれまでの経緯や他市の状況等について共通認識を図る。（平成28年12月22日、平成29年1月31日の特別委員会）

共通認識を図るための資料としては、議案、請願、陳情等議会に提出されたもの、議会だより、会議録等公式に発行されたもの、他の市町において公表されている数値を取りまとめたものに限定する。下記の資料を活用して、議員定数・報酬についての理解を深め、共通認識を図った。

・当市議会の期別定数について。

第7期、議員定数28人、第8期と9期、議員定数26人、第10期、議員定数22人、第11期、議員定数20人。

・人口、面積等が同等規模の市の議員定数・報酬、財政力等がわかる資料。

・当市のこれまでの議員定数・報酬にかかわる経緯、議案、請願、陳情、直接請求などがわかる資料。

当市議会議員の報酬一覧、平成11年から平成28年まで。

まず、この（１）についてはよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

（２）議員定数・報酬の増減におけるメリット、デメリットについて論点整理を行う。平成29年1月31日、平成29年4月19日の特別委員会。

議員定数・報酬について、増、現状維持、削減の場合のメリット、デメリットについて、自分の意見とは関係なく、定数についても増、現状維持、削減それぞれのメリット、デメリットで6項目、報酬についても6項目あり、合わせて12項目について、項目ごとに考えられることを挙げた定数・報酬について論点整理を行った。

ここ、よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御異議なしと認めます。

(3) 定数・報酬について委員間討議を行う。平成29年5月18日、平成29年6月9日特別委員会。

豊明市のこれまでの経緯や他市の状況について学習し、市民参加の前に、議員定数・報酬における増減のメリット、デメリットを取りまとめ、論点整理などを行ってきたので、この段階で各委員の意見を出し合い、委員間討議を行った。

(3)、よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御異議なしと認めます。

(4) 広聴会について。平成29年6月9日、平成29年6月27日の特別委員会。

平成29年7月9日の広聴会の日程の中に、議員定数と報酬にかかわる問題を位置づける。アンケート調査をすることを決める。アンケートの内容と、当日アンケート実施時に渡す資料を検討する。また、当日、各議員の考えを求められた場合、現在、議員間で協議中のため回答しないことを確認する。

○7月9日、広聴会実施。ここで丸を打っておるのは、実際に広聴会を実施した日ということをやっと強調する意味であります。(3会場に分かれて行う。南部公民館会議室、商工会館2階会議室、文化会館会議室)

アンケート集計結果の分析は、平成29年7月21日の特別委員会で行いました。

アンケートの集計結果を当特別委員会の資料とすることを確認いたしました。

続いて、講演会を開催することを決定する。予算については15万円を上限に要求することを決定する。

ここはやや羅列的ですが、平成29年7月21日の特別委員会でやったことの中心の論点を3つ並べたということでもあります。

これでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) (5) 陳情第4号 豊明市議会議員の定数削減を求める陳情について。平成29年9月19日特別委員会。これは、特別委員会が実際に開かれた日であります。

陳情であるので、直ちに質疑に入ったが質疑はなく、討論に入りました。討論を終結し、採決に入りました。採決の結果、賛成者5名。よって、陳情第4号は、賛成少数により不

採択すべきものと決しました。

よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) (6)講演会について。
平成29年9月28日、平成29年11月6日の特別委員会。

講演会についての補正予算は、9月定例会で可決された。

11月18日の土曜日、勤労会館で開催された。第1部として、午前2時から午後3時……。

(午後2時の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ごめんなさい、午後2時から午後3時20分までとし、講演会60分、質疑応答20分とする。

講師は、愛知学院大学法学部教授、小林明夫氏。演題は、住民自治と議会。この演題のもとで、内容について少し触れてきました。議員定数・報酬の根本にあるものも含めてお話ししていただくと。講演会後にアンケートを実施することを決定した。

6番、よろしいですか。

○宮本英彦委員 大したことないんですけど、定例会で可決された、勤労会館で開催された20分とするという、この語尾ですけど、可決した、勤労会館で開催した、質疑応答20分とした、されたということにすると、何か、主体がどこかにあるような感じで、誰かがやってみたいな感じになるんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) わかりました。今、指摘されたことは確かに言葉を補正します。

私、これ、打っております、主体があっち行ったりこっち行ったり、語尾が現在形になったり、極端なことを言うと進行形になったり、それから、言葉遣いが常体になったり敬体になったりしておりますので、なるだけそろえたつもりですが、一部不十分なところがあったかもしれません。

じゃ、宮本委員、どういうふうにしたらいいと思われませんか。

○宮本英彦委員 いや、言ったように、「した」。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 語尾が統一するように「した」ということで、こちらで訂正させていただいてよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じところで、一番下に、講演会後にアンケートを実施することを決定したという文章がありますが、これはお話をいただいた後に決定したわけではないので、

時系列からいくとアンケート実施を決定したのはもう少し早いので、できれば、9月定例会で補正が可決されたという、その次ぐらいに入れてもよいのかと思いますが。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 時系列でちょっと、確かに的確性がないかもしれません。

その点についてお諮りしますが、今、山盛議員が指摘されたように、そのところ、位置を変えてもよろしいですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 講演会後にアンケートを実施したていいのではないのでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 実施したということね。

○鵜飼貞雄委員 はい。事実です、それで。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今、時系列が合うように修正の意見として、講演会後にアンケートを実施したというふうにしたらどうだという意見が出ましたが、鵜飼委員の言うように直してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 山盛議員、よろしいですか。

○山盛さちえ委員 はい。いいです。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ありがとうございます。
では、6番について……。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 確認です。

言葉尻は統一していただくということでよかったですね。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） はい。

○近藤郁子委員 ということは、その上にも、お話しいただくもいただいたに変わるということですよ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） はい。ありがとうございます。

語尾のほう、早川委員にお願いして直していただきますが、それもレイアウトの範疇とってはちょっといけないかもしれませんが、今、この委員会で語尾を直すように確認したということですよ。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、7番に行きま

す。

デメリットの解消法について。平成29年9月28日、平成29年11月27日特別委員会。

平成29年9月28日の特別委員会で、議員定数・報酬をふやした場合、現状維持の場合、減らした場合におけるデメリットの解消方法の取りまとめをした。取りまとめたものを本委員会の資料とすることに決定し、自分の考えも含めて意見を出し合う場とした。

これはいいですか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 8番、講演会でのアンケートの結果について。平成29年12月7日の特別委員会で話し合いをしたものです。

アンケート用紙は、参加者51名に配布。回答者34名。

アンケート結果、定数と報酬についての一部の報告を報告。

議員定数(現議員数は20名)については、ふやす、現状維持合わせて13人、減らす19人、わからない4人、無回答1人。

議員報酬(現状月額40万5,000円)については、ふやす、現状維持合わせて18人、減らす7人、わからない6人、無回答3人、以上のおりである。

8番、よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御異議なしと認めます。

それでは、次、まとめの段階に入っていきます。平成29年12月7日、つい最近ですが、その日の特別委員会です。

(1) 本特別委員会は、平成28年10月の緊急議会で設置して以来、1年余にわたり調査してきた。その以前には、定数・報酬分科会で基本方針などを作成していただき、本特別委員会の指針となった。

調査の経過としては、初めに、本市のこれまでの定数や報酬の経緯と他市の状況を調査した。続いて、定数や報酬をふやした場合、現状維持の場合、減らした場合のメリット、デメリットについて整理をした。また、デメリットの解消方法についても意見交換を実施した。さらに、愛知学院大学法学部の小林教授をお招きし、住民自治と議会を演題に講演を行っていただき、市民とともに学習することができた。7月には広聴会を開催し、市民の声を聞き、アンケート調査も実施した。11月の講演会においてもアンケート調査を実施した。このように、いろいろと調査等を重ねてきた。ここでは、本特別委員会として1つの結論を導いた。

よろしいですか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 (1)の2行目、この以前には、定数・報酬分科会で基本方針などを作成していただきというふうにあるんですが、同じ議会内のことですので、下の講師に講演をいただいたというところは、いただきでよろしいかと思いますが、上の部分については、基本方針などが作成され、本特別委員会の指針とした。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) はい。わかりました。

○山盛さちえ委員 基本方針などが作成され、基本方針としたということでいかがでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 今の山盛議員のように修正でよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ありがとうございます。使わんでもいいところに敬語を使って。

(あと、もう一つの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 山盛委員。

○山盛さちえ委員 これはそんなに重要な部分ではないんですけども、下から3行目のところに7月にはということ、時系列的にはさかのぼったものが出てきて、市民の声を、アンケートをとったというふうに書かれているんですけども、市民の声を聞くアンケート調査については、7月の広聴会と、それから11月の講演会で2回行ったというふうに、アンケートという一まとめにして、時期を7月と11月というふうにしたほうが、流れとしてはわかりやすいかなと思いますが、そんなに重要ではないので、はい。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでは、私の意図としてはこういう、ちょっと書き方が下手なのかもしれませんが、記述が。きちっとアンケートを2回もやって、市民と情報を共有したんだよということを言いたいという意味であります。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) じゃ、この文章のとおりでいいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御異議なしと認めます。

(2) 議員定数について、委員間討議での意見。

○定数減の意見。

- ・議会が直接市民の意見を聞く場や、市民が参画する工夫をすれば克服できる。
- ・常任委員会の兼任、あるいは常任委員会を2つにする。
- ・採決権はないが、委員会の審議を聞いて意見を述べる権利のある市民を議会が委嘱する。
- ・委員外議員の発言を強化する。
- ・小さな行政を目指す。
- ・資料などさまざまな情報をきちんと、議員あるいは市民が手にできる仕組みづくりをする。
- ・議会報告会などで積極的に市民と接し、減のデメリットの解消に努める。
- ・予算と補正は全員で行うなど、委員会の構成を工夫する。
- ・定数減を補完しようとするれば、本会議質疑のありようを変える。

次は、現状維持に行きます。

○現状維持の意見。

地方分権によって当局の権限が強化されてきている。力を増していく当局に対して、議会は人数が十分必要である。

デメリットの解消方法というのは、対症療法的なものである。

いいね。

(対症療法的なもの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） はい。

- ・機構改革に伴い部署が再編された場合、議案の種類もボリュームも変わってくると、3常任委員会で各7人ぐらいと考える。
- ・定数減のデメリットの解消ができて、メリットにはつながらない。
- ・議員、議会の責任、責務というのは、前進していくこと。人口や税収にしても、ふやしていくことが重要である。
- ・選挙に出ることのできる芽を残しておくことも現職の責務である。
- ・能力ある人が出やすい環境を整えておくことが大切である。
- ・定数については、全国市議会旬報に出てくる数字がある程度の目安になる。

定数増の意見。

市の現状から考えて、委員会の構成を適正にする。例えば教育と福祉は1つになっているが、分けるとかの目線が大切である。

ここまでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） （3）議員定数について
討論。

定数減の討論。

きちんと機能する議会をつくれれば、人数は15人で十分やっていける。

15人にこだわらないが、19、18、17、16、目指す方向の議会に近づきたい。

減らすべき、15人に賛成。

削減しても何ら問題はない。

人数を問われれば15人、全会一致が可能であれば、その努力はすべきである。

現状維持の討論。

行革の理論で、経費削減のために議員定数や報酬を削減してよいのかと著名な方の著作で述べられている。私も賛成である。

機能しないから削減する、それは論点、論法としてはおかしい。

- ・議員の中にいろいろな活動がある。活動に多様性があるってよい。
- ・みんながたくさん意見を出し合って進んでいくのが、今の段階では一番よい。
- ・議会基本条例第18条は、市民感情に流されない仕組みづくりを条文にしたつもりである。
- ・全国平均は21.3人である。3常任委員会で各7人ずつがベストだと思うが、市民の意見を考慮して現状維持とする。

切磋琢磨して市民のために働けるように、自身も議会もレベルアップするため、現状の20人でよい。

議員の定数は、行政改革や経費節減といった観点だけでは決められない。住民の多様な意見や必要性を反映させることが大事である。

減らすことが議会改革ではない。今の時点では現状維持でよい。

自分の経験から理想的なものは22名と考えているが、皆の意見を伺って、現状維持がベターだと思う。

定数増の討論。

議員は全体の奉仕者であるという意味合いをしっかりと受けとめるべきである。不利益をこうむったり害を受けたりする方の権利を守るという役割も持っている。22名を提案した。よろしいでしょうか。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 6ページの現状維持の討論の頭の2行目で、私も賛成であるという、

ここだけ意思表示が載ってるんですが、これは要らないかと思うんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どうだろう。その意思表示、討論の場での意思表示、普通の議案の討論とはちょっと意味が違うかもしれませんが、どうでしょう、こここのところ。私は賛成であるというこの……。

（同感であるの声あり）

○近藤ひろひで委員 でも、現状維持の討論でしてるんだから、前の文章で賛成という意味はわかるし。ここ、富永さんが言ったの。要らんじゃないの。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） その前の文章が現状維持かふやすという視点からの文章ですよ、それで賛成であるということ。どうでしょう。今、私ということではちょっと指摘がありました。

後藤委員。

○後藤 学委員 討論というのは自分の意見を言うわけでしょう。それで、この前の文は、ただこういう事実を、こういう人がいるという事実を言っただけなので、それに関して、この言った人がこういう自分の意思表示をしてもいいと私は思います。

（発言する者あり）

○後藤 学委員 賛成でも同感でも何でもいいけど、自分がどう思うかという意思表示はあってもいいという。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） よろしいですか、これ載せておくということで。載せておくというと何か失礼な言い方かもしれませんが。

よろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 （3）の表題の部分なんですけれども、議員定数について討論というふうに書いてあるんですが、議員定数についての討論。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ああ、なるほど。

（のが要るの声あり）

○山盛さちえ委員 それから、その下に定数減の討論、現状維持の討論、討論、討論というふうには、また小さい見出しのところが討論という言葉が使っていますが、大もとのところが討論と書いてあるので、下のところは、定数減の、上と合わせるなら意見、あるいは議員間討議と同じ表現をしないほうがいいということであれば、定数減に関する発言とか意見とか、変えるならそのように少し変えて、討論ということはその都度言うのはちょっと重複なので、変更したほうがいいかなと思いました。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どうでしょう。表現の仕方というか、表現の仕方が意味内容まで違ってくるといけません、そのところ。

まだありますか。

富永委員。

○富永秀一委員 それは前の、そうすると、何とかでの意見についても、最初、意見と書いてあるから意見は要らないかとなると、ちょっとやっぱりわかりにくくなってきてしまうかなというふうにも思いますので、討論はつけていてもいいんじゃないかなと思いましたが。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 直したらどうだということ、つけといてもいいという意見がありました、もう採決で決めていいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） この原案のとおりでいいと思われる方、挙手願います。

（賛成者挙手）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 多数ですので、このとおりでいきます。

三浦委員。

○三浦桂司委員 現状維持の討論で、多分私が言ったんですけども、議会基本条例第18条は市民感情に流されない、市民感情だけにとという表現を……。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） だけ。

○三浦桂司委員 はい。市民感情も確かに大事ですが、だけに流されない仕組みをと、言ったつもりなんです。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 多分そのところは私の間違いじゃないかなと思いますが、今、この原案というか原物を確認しておく余裕はちょっとありませんが、今、三浦委員の申したように直してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 早川委員、パソコン持っておる。

○早川直彦委員 最後に確認しますので、そのまま進めてください。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、市民感情に流されないということによろしい、市民感情だけにだね。「だけ」が入ることね。はい、わかりました。

どこまで行ったんだな。

(次、(4) ですの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) そうか、ごめんなさい。

じゃ、今までのところはよろしいですね。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) じゃ、今度、(4) からですかね、定数について採決。

定数について採決。

最初に、現行定数20名を減らすか減らさないか、2択で採決する。減らさないことに賛成多数により、減らさないことに決定する。何かまどろっこしいけど、こういうふうですね。

続いて、減らさないことの中身、22名にふやすか、現状維持かで採決する。採決の結果、22名を可とするもの1名、現状維持を可とするもの12名。よって、定数は現状維持20名とすることに決定する。

よろしいですか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ちょっと事実関係をきちっと書いていただきたいなと思ってます。具体的には、続いて、減らさないことの中身、22名に増か現状維持かで採決するというその前に、続いて、減らさないことに賛成した議員で、減らさないことの中身20名か増かという、この減らさないことの中身の前に、減に賛成をした人はそこに入ってませんので、そのことをここに記入をしていただきたい。そうしないと、下の数が合わないんですよ。22名を可とする者1名で、現状を可とする者12名、あとどこ行ったんやと。

だからそこを、事実経過を、表現は別にしても、私の言った表現でよきゃそれでもいいけれど、要するに、現状維持かふやすかの議員で採決した結果というかね。その事実経過をここに記載していただきたい。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) そうすると、例えばだと、どういう文章がよろしいですか。

○宮本英彦委員 仮に私が言ったのは、続いて、減らさないことに賛成した議員でという文章をここに入れる。あるいは逆に、減らさないことに賛成した議員で採決した、ちょっと文章あれだけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 富永委員。

○富永秀一委員 この件は事実関係を確認したほうがいいかと思えますけど、もしそれを

入れた場合には、その人数をどうするかについて、減らすといった人は採決に参加できなかったという意味合いになりますけど、そこまでやったかどうかはちょっと、意思を持ってしなかったという、つまり放棄をしたというふうに私は思っていたんですが。

(いやいや、それはの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それは、私の頭の中にあるのは、宮本議員が、自分は減らすほうなんだから、そんなの、現状維持かふやすほうに近寄るとか、そちらに入って意思表示することはできんというようなことを言われた。

(そういう意味の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 宮本委員。

○宮本英彦委員 だから、私は放棄したつもりはないんですよ。放棄じゃなくて、それは賛同された方で人数を決めるというルールの特案だったから、私は減らすほうでしたので、それはもう何人に、現状維持かふやすかの賛同は対象外ですよというつもりで、私は放棄したつもりは全くないんです。できないということ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 難しいな、これ。

はい。

○近藤郁子委員 まず、言葉尻を過去形というか、したというふうに全部変えていただけるんだろうということも含めてですけども、続いて、賛成多数により減らさないことに決定した。続いて、減らさないことに賛成した中で、さらに22名に増か現状維持かで採決したというふうに、さらにというふうにつけ加えれば通用しないでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) どうぞ。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 そのときのいろんな感情もあるんですけど、続いて、減らさないことに賛成した議員で、22名増か、現状維持かで採決をするでいいんじゃないですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) も含めてということ。

(要するにそういうことならいいです。要するにそういう事実経過がここに入っていれば
の声あり)

○近藤ひろひで委員 賛成議員の中の票だったよということでしょう。

(そうそう、そうそうの声あり)

○近藤ひろひで委員 それが一番文章としてはシンプルじゃない。もう一回言いましょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) もう一回言って。

○近藤ひろひで委員 3行目ね。続いて、減らさないことに賛成した議員で、22名増か、

現状維持かで採決する。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 であれば、議員ではなく委員のほうがいいかなと。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 1つ気になるのが、それを入れた場合、これが前例となってしまうかなというのがちょっと。今回は、要するに減をすべきだと、減らすべきだという委員の方は次の採決には加わらないというふうに意思表示をされたのでそれでいいですけど、加われないというふうにする前例にならないかという危惧があるんですけど。事実としては参加できないというふうにしたというところまでは思ってなかったんですが、どうでしょう。それをここで、いいですかね。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 それはまあ、それで決着したほうがいいかな。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 間違うといかんでさ、これを。もう何回でも言わせるけどさ。挙手でいい。もう一遍言って。こっち、記述するで。ずっとわかるように言っていってね。

○近藤ひろひで委員 （4）の定数についての3行目、続いて、減らさないことに賛成した委員で、あとは一緒です。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） だから、減らさないことに賛成した委員だけでやったんだよということがわかるということね。

○近藤ひろひで委員 それはもう現実そうだったんでね。それでいいか悪いか諮ってください。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今のように文章を直して、減らさないことに賛成した議員だけでこれやったということがわかるように、そのところ、訂正してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○村山金敏委員 もう一遍言いますよ。続いて、減らさないことに賛成した委員で、22名の増か、現状維持かで採決する。それでいいですか。

（はいの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） じゃ、もう間違うといかんでしっかり書いてくださいね。

富永委員。

○富永秀一委員 その部分でいうと、まず1つは、22名にふやすにしたほうがいいと思います。上が減らすという表現、減らさないとかいう表現になっているので、22名にふやす。

(ふやすかの声あり)

○富永秀一委員 ふやすか現状維持かのほうがいいと思います。

(22名に増かの声あり)

○富永秀一委員 増かというのを、ふやすか。

(22名に増か現状維持かで採決の声あり)

○富永秀一委員 のを、22名にふやすか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ふやすかだ。増じゃなくて、ふやすにするのね。

○富永秀一委員 周りの表現と合わせたほうがいいんじゃないかと。

その上でもう一つ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 富永委員。

○富永秀一委員 この採決の結果を表記するところが全部ばらばらになってるんですけど、一番丁寧なのは、続いて、減らさないこと以降の部分が一番丁寧で、つまり人数もきちんと書いてあるわけですけど、上の部分は賛成多数で済ませているわけですよ。これも人数が全部とってあるのであれば、ここの、よって減らさないことの以降と同じような表記にそろえたほうがいいと思うんですが。全部人数はとってありますか。

(とってないですの声あり)

○富永秀一委員 とってないのか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) わからん、わからん。も一度確認、それするけど。

○富永秀一委員 とってないのであれば、しょうがないですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) じゃ、とってあったら、イフでやらないかん。

○富永秀一委員 とってあれば、要するに減らすか減らさないか2択で採択するの、採決の結果というふうに、採決の結果、減らさないことを可とする者何名で、減らすか先か、減らすことを可とする者何名、減らさないことを可とする者何名、よって、賛成多数により減らさない……。

(発言する者あり)

○富永秀一委員 そうですよ。というふうに、そこにそろえないといかんかなと。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ちょっとこの会議録を精査せんと、とってあるかとってないかちょっとわかりませんので、とってあったら全体が20になるような書き方をすると。

○富永秀一委員 まあ、19かな。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） とってないということが考えられるとしたら、手挙げて絶対多数でとそこで切れて終わってしまうということだったかもしれんけども。

もう一遍精査します。そういうことでよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。
山盛委員。

○山盛さちえ委員 一番最後の、（4）の一番最後の、よって、定数は現状維持20名とすることに決定する——したにするのかな——という表現なんですけど、次のページの報酬についての採決の一番最後の結びのところが、現状維持に賛成多数である、現状維持と決定するというふうな表現がしてあって、ここについても人数については定数、定数のことを言ってるんだか、定数が必要かどうかちょっとわかりませんが、現状維持20人に賛成多数である、現状維持と決定する、どちらかに合わせる。表現がね。採決の表現は……。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 おっしゃるとおりで、ここの1行目に現行定数20名と書いてあるので、定数は現状維持とすることで決定するという意味合いでいいんじゃないですか。20を入れなくても。

（20を消すということの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 はい。ということで、とすれば、（7）の現状維持に賛成多数である、現状維持と決定するというふうに、（7）とどうせなら合わせてもよろしいかと思いますが。

（言葉をそろえるで諮ってもらえばいいんじゃないですかの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 先ほどから出ておりますように、表記の仕方をそろえるということでもよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

今回は、そうすると、5番。（5）方針についての委員間討議。

豊明市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の期末手当に関する特例を定める条例を廃止すべきでない。

会社をやめて立候補し、当選するかどうか分からない状況であれば、今の報酬金額は維持していかないといけない。

定数・報酬の結論が出た以上、特例条例を廃止してもよいのではないか。

特例条例を解除する場合、遡及はしないこととする。

特例条例について、今期は今のまま続けていかなければならない。

ここは、継続するかやめるかということで、両方まぜて、まぜてというか一緒にして書いてあります。分けてありませんので、討議の核というか内容が少なかったもので、このように例示して、例示じゃない、示してあります。

5番についてはどうですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 異議なしと……。

(済みませんの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) はい。

○山盛さちえ委員 これも、定数のほうと言葉を合わせて、報酬についての委員間討議での意見というふうに合わせたほうがいいと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 定数は何て書いてあったかね。

○山盛さちえ委員 5ページの(2)議員定数について、委員間討議での意見というふうを書いてあるので、ここの(5)についても、方針について、委員間討議での意見というふうに表記を統一したほうがいいと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それじゃ、これ、討議のところで意見というふうに入れてよろしいですか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでは、5番はもうよろしいですね。6番に行きます。報酬について。今度は討論です。

報酬は現状維持、特例も期限まで継続して自動的に切れる。その時点または来期に考えればよい。

報酬については現状維持、特例については廃止という方向で考えている。

報酬は民間やいろいろな社会情勢を加味すると減らす立場である。

報酬は報酬審議会に委ねること、特例は今期中そのまま。

という討論がありました。これだけではないかもしれませんが、主なものということです。

ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 2行目と最後のところで、来期と今期中というのが、私たちはわかりますけど、私たちの任期中という意味合いで、この表現でわかるかなど。そういうふう

に発言されたと思うんですね。
それと、あと細かなところで、一番最後の、例えば今期中としてもそのままマルになってるんで、そのままとすると、「する」というのは入れたほうがいいのかな。だから、期数の扱いの表現の仕方がこれでいいのか、皆さんがよければ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 語尾も含めて、語尾と、それから同じ意味のものを二通りの使い方をしているということで、どうですか。これもそろえるという方向でいいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ここで私、一言申しますと……。

○近藤ひろひで委員 ごめんなさい。言ってるのは、来期——その前にもあるね——来期とか今期とか今期中というのが、厳密に言うと、議員の今の現任期中というのかなという意味だと思うんですけど。いいといえればいいんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 今の議員の任期中という表現だと誤解がないのかなど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、今の言葉については、今の議員の任期中というふうに改めていいですか。

（異議なしの声あり）

○近藤ひろひで委員 そうしたら、5番の一番最後の今期もそういうふうに直したほうがいいですね。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今期ね。

○近藤ひろひで委員 あと、ありません。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今期については、いいですか、今期については今の議員の任期中に直すと。

○近藤ひろひで委員 そういうことですね。

（現の議員の任期中ということでもいいですね。現議員の任期中の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今のがわかりやすいね。

ちなみに申すと、これは私が会議録そのままですもんで、ちょっとあれかもしれませんが。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そのついでで、来期は改選後に書きかえればいいと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どこですか。

○ふじえ真理子委員 今の（6）の下から4行目。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 来期ね。来期考えればよいというのを、改選後。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） まだある。

富永委員。

○富永秀一委員 先ほどの（3）のところで「の」を入れたので、ここも、報酬についての討論でそろえてください。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） やっと6が終わって……。

（次、7番の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 7番だね。

報酬について採決。

また語尾の問題とかいろいろ出てくる、そろえる問題が出てくるとは思います、最初に、報酬について現状維持か減らすか、2択で採決する。

現状維持に賛成者多数である。

現状維持と決定する。

下まで行きます。

特例条例について採決。

廃止か現状維持か2択で採決する。

廃止に賛成者少数、現状維持に賛成者多数である。

現状維持と決定する。

これも何か、どうしたらいいですかね。

（ここは前と合わないの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） これも事実に沿って経過はこうなっておるんですが、読み返してみるとそろえると。

（合わせるでもういいよね。異議なしだからの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） （7）はよろしいですか。
（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） （8）パブリックコメントは必要かの採決。

必要か不必要かの2択で採決する。必要である挙手8名、不必要である挙手11名。よって、よってということで、パブリックコメントは賛成少数により不必要と決定した。

これで一応全て終わりました。

それでは、もう一度確認します。今のそろえることについては、いいですか、そろえることについてはこちらに任せていただくというか、レイアウトと同じようにさせていただくという意味でよろしいですね。そろえた結果をもう一度この委員会で検討せないかんとか、それはいいですね。なしということでいいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それから、別表1がついておりますので、よくごらんください。

これで全て、ちょっと待ってくださいね、この報告書については一つ一つ確認してきましたので、これで全て終わったということでよろしいですか。

（ちょっと待ってくださいの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 資料の1から最後12まででしたっけ、の一緒にここに付けるんですね。これ、つけない。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） という予定ですが、報告書にちょっと、それじゃ、それを諮りますね、どうするかということ。

資料の1から12について、私は、報告書に何か別冊か何かでとじてストックするというようにしておくことは必要かなとは思いますが、せっかく膨大な立派な資料ですので。だけど、これにつけるという感覚だと、ありとあらゆるところに、これ、例えば公文書の請求があってこれを出したという、これついておるんだったら、あの資料をまた全部コピーしてどさっと渡さなきゃいかんということになるじゃないですか。そういうことまでやる必要があるかなというね。あの資料はあくまでも、これを求めるために僕たちが活用した資料ですので、これが全てということに考えていただいて、けどもったいないですので、何かあの資料をとじて冊子か何かにして、どこかに……。

（これにつけるかどうか諮ってくださいの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほど、メリット、デメリットの資料8でもう一回まとめ直したって
いってみえたときに、別表2にするとかしないとかという議論を協議会でしましたよね。
そのときに、私の理解なんですけども、資料の1から12の中にそれは正しい形で資料8を
差しかえる形で保存されていくのでここにはあえて入れないというような、そういう理解
をしていたんですね。報告書にそのまま全部セットでつけない、だとすれば、1から12ま
での資料が存在しているということは、この報告書の中に、どこかに一文入れたほうがい
いかなというふうに思いますが。

(諮ってくださいの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 資料の1から12、これの
処理というかそれについて、私の考えは……。

(私の考えは要らんのでの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) いや、諮るだけ。ちょっ
と待ちや。

ひろひで委員は、それは必要ないという。

○近藤ひろひで委員 ここに、報告書と一緒に添付するのは必要ない。もちろん資料とし
ては、記録としては残ってるので、この報告書の中に一緒にとじる必要はないという意味
で言いました。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) そうすると、もうちょっ
と聞きますけど、記録して残るというのは、資料の1から12の残し方だとか、何かいろん
なことが次に出てきますよね、課題が。これについておれば、ばっとして、公文書の請求
があったときに……。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ちょっと待って。

それと一緒にぼんと出てくるんだけど、別紙、別でどっかにあるということになると、
公文書の請求をしたときにこれでできる、資料の1から12はどの処理というか、どこ行っ
ちゃったとか、そういう問題は出てこないですかね。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 先ほど委員長が言われた考えに、僕、実は賛同です。この結果を導き出
すためだけに資料が存在したというふうに認識しておりますので、なので、つけるかつけ
ないかのもう採決だけでいいんじゃないでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 富永委員。

○富永秀一委員 今、現状、委員会の会議録は本当に会議録だけしかないですね。より親

切にしている議会などだと、やはりそういう議事録のところに、そのときの参考資料というのは見られるようにしてあるわけですが、そういうことぐらいいはしていったほうがいいのではないかと思うんですけど、そうすれば、そこに添付をしなくても、必要のあるところ、議論のところで見られると思います。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでも、資料についての扱いは2つあるよ。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ひろひで議員のは、資料は別に残しゃいいよというのでしょうか。それから、富永議員は、会議録につけてという、会議録につける。

(会議録と一緒に見られるようにの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 全然、資料のことはもう関係なしだよと、これだけだよという意見と3つあるもんね。難しいな、こりゃ。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それじゃ、ちょっと今、精選しましたけど、それじゃ、資料の扱いについて、この報告書に1から12をつけるかどうかということで、まず確認しますね。1から12で。いいですか。

じゃ、そちらへ行きます。

この資料に1から12はつけなくてよいと、それは別物であると、つけなくてよいというふうに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 賛成多数です。

これにはつけません。

それはまだ資料として残りますので、先に出てたところで、この会議録にという問題があったでしょう。

富永委員は、もう一度言っていただく。はい、どうぞ。

○富永秀一委員 先ほどちょっと出ていましたように、この特別委員会のことだけではないので、議事録と同時に見られるようにというのは全体的に進めていくべきだろうと思いますが、この場でそれについて詳細に議論をするのはちょっと違うかなと、そういうことです。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) わかりました。なるほど。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでは、その資料の扱いについては、今、ここで話し合いして意味を深めるというのはちょっと困難かなと思いますので、きょうのところは、その資料については、1から12の資料についてはこれにはつけないという、この結果を締めといたします。

そのほか、ございませんか。

(進行の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでは、御苦労さまでした。この報告書をもって、本会議で報告させていただきます。ありがとうございました。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) まだいかん、ごめんなさい。今、終わりというのは……。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 続いて、議題の2、その他に入ります。

この際、委員より何かありますか。

(進行の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御異議なしと認めます。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 早川委員。

○早川直彦委員 これ、今、インターネット上でも、定数・報酬の特別委員会のカテゴリーに出てるんですが、これはインターネット上で上げるんでしょうか。これも議会が終わったら、報告として。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ちょっと待ってくださいね。

私、一文落としましたけど、この報告書を議長に提出して、議長に対して、本会議で議長に提出して、それが最終の報告書の提出をしたという、その時点であれになります。その後の処理については……。

○早川直彦委員 ここで決めなきゃ、後の処理を。ここ全員なんだから。特別委員会の中で決めなきゃいかんのじゃないですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 早川委員は、インターネットに載せるかどうかという問題だよな。

○早川直彦委員 もう一つ、今、カテゴリーの中で定数・報酬の特別委員会があって、過程中的のものが若干出てるんですが、この終わった報告書と先ほど議題に上がった資料は、結果としてこうだというふうに、定数・報酬の特別委員会のカテゴリーの中でインターネットに上げたらどうでしょうか。

(これも諮りゃいいの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 やめます。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 インターネットに上げるのには賛成です。ただ、資料の扱いについては、また推進協とかほかの委員会の調整をとった上で、上げる上げないは皆さんに諮るべきだと思います。

これを上げる分には、私は賛成です。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) じゃ、インターネットに上げるということに、上げることにしては、これを上げる。それから、上げることに賛成、それから資料も上げるというふうに出ておりましたが、まず聞いてきます。

じゃ、これを上げることについて……。賛成ですか。

○早川直彦委員 ちょっとよろしいでしょうか。

資料は、ここで今やっている特別委員会の資料ですので、ここで決めるべきじゃないですか。だって、資料がないというふうに、今、これを読んだ人が、資料自体があることも読めないじゃないですか、読んだ人とかって。

(発言する者あり)

○早川直彦委員 この委員会、特別委員会の中で資料としてそこまで……。

(発言する者あり)

○早川直彦委員 ここで諮ればいいんじゃないです。またほかのところで、改革協の中でそれがちゃんと議題で上がるんだったらいいんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) どうぞ。

○鵜飼貞雄委員 ほかの特別委員会とか委員会の例に倣ってでいいと思います。まだどうするか決めてないんで。これだけ、今回のだけ、じゃ、やりましょうというのはおかしいと思いますので。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでは、もう……。

山盛さん。

○山盛さちえ委員 ごめんなさい。通常の常任委員会の追加資料は議案を詳しく説明する

ための資料ですけれども、これは、この特別委員会は、定数・報酬検討特別委員会なので、検討することがこの特別委員会の使命なわけですよ。なので、検討のための資料というのは、これは私はセットであるべきだというふうに思います。

それで、全部をここにくっつけないということは決定しましたけれども、存在しているということ自体も議事録を読んでいけば出てくるかもしれませんが、これに導くための資料としては、資料1から12、1何々、2何々、こういう項目の資料をもとにしましたということぐらいはどこかにないと、それはやっぱり私はよくないというふうに思うので、どこに載せるかということは別として、この特別委員会として検討のための資料の存在だけでもきちっと明記するという必要だと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 唐突に資料だけをぽんと出しても、その文脈でどういうふうに使われたとかいう議論がわかりませんので、やっぱり私は議事録とあわせて見られるような形にしていくべきだろうと思います。

そういうことは、もともとがこの特別委員会をつくる前も推進協で話し合っ、分科会で話し合っ、結局特別委員会になったわけですけど、この特別委員会が役目を終えたとしても、それは推進協で引き続き話し合っっていい問題だろうというふうに思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 資料の問題、いろんな観点からいろいろ出てきましたが、これにはとにかくくっつけないという、これはこれで報告書として終わる。けども、その資料の扱いについてはこれをつくるための膨大な資料、立派な資料があるので、それをどうするかということについては、推進協なり、今、出たんですが、そういうとこでまた考えていくということはどうでしょうか。私のほうからそういう、今、ちょっとまとめたような形で言いましたけども、そういう皆さんからの提案も出てましたので、いいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、もう一度聞きます。

これには、1から12の資料はつけないと。けども、あの資料については、何らかの形でストックするなり、市民に知らせれるような方法をとると。それは推進協で話し合っっていくということよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ちょっとまとめのところがもたつきましたが、そういうことよろしくお願いたします。

早川委員。

○早川直彦委員 今、先ほどの直したところは読み上げなくていいですか。

(発言する者あり)

○早川直彦委員 そこまで一任で大丈夫ですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) もう大丈夫にしておきます。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 報告書の体裁は委員長に一任してくださいということです。これは一任でいいですね。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御苦労さまでした。これで全て……。

(もう一つ、もう一つの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) もう一つ。

早川委員。

○早川直彦委員 まだ議会だよりもあるんですが、それも一任ということですよ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) そうですね。これの議会だよりがあります。

一任でよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御苦労さまでした。これで全て終わります。

それでは、長い間御苦労さまでした。これで全て終わります。

午後零時45分閉会